

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 イハラサイエンス株式会社

コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中野琢雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統轄室長

(氏名) 十亀 猛

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,239	3.7	755	3.4	729	0.8	463	4.9
26年3月期第2四半期	5,051	5.8	729	29.4	724	40.8	441	36.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 494百万円 (8.5%) 26年3月期第2四半期 455百万円 (44.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	39.34	—
26年3月期第2四半期	37.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	14,494	10,187	70.3	865.34
26年3月期	14,472	9,928	68.6	843.36

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 10,187百万円 26年3月期 9,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	20.00	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	1.9	1,820	5.9	1,800	5.3	1,150	9.8	97.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年11月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) イハラパイピングサービス株式会社
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	14,000,000 株	26年3月期	14,000,000 株
27年3月期2Q	2,227,536 株	26年3月期	2,227,516 株
27年3月期2Q	11,772,473 株	26年3月期2Q	11,681,314 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成26年5月14日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国や新興諸国でも成長の鈍化、欧州経済における回復基調の後退など、先行きの不透明感が継続しましたが、米国では企業業績や失業率の改善が進み、総じて堅調に推移いたしました。わが国では、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動が見られるものの、公共投資などの景気対策や堅調な企業業績が下支えとなり、景気は緩やかな回復傾向が持続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、お客様の信頼と期待を獲得するため、社員一人一人が自分の責任を果たし、品質、スピード、実行にこだわり、グローバルな競争の中で、さまざまなお客様の問題を解決し、お客様からありがとうと感謝される体制作りを進めてまいります。

販売面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要が堅調に推移しており、前年同期の売上高をやや上回る結果となりました。一方、半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、低迷しておりました市況が、第2四半期からやや回復傾向にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は52億39百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は7億55百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は7億29百万円（前年同期比0.8%増）、四半期純利益は4億63百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が落ち込み、売上高は8億83百万円（前年同期比9.2%減）、セグメント利益は1億44百万円（同41.9%減）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、国内需要が堅調に推移しており、売上高は21億53百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は8億5百万円（同3.1%減）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が第2四半期からやや戻り、売上高は16億15百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は4億94百万円（同3.6%増）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注が堅調に推移しており、売上高は6億5百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は1億19百万円（同6.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで9億43百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで6億75百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで4億60百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より1億80百万円減少し35億37百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は9億43百万円（前年同期は5億40百万円のプラス）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上7億29百万円、賞与引当金の増加による2億18百万円の増加、売上債権の減少による2億47百万円の増加、未払金の減少による54百万円の減少等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は6億75百万円（前年同期は1億50百万円の支出）となりました。この主な要因は投資有価証券の取得による5億62百万円、有形固定資産の取得による99百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は4億60百万円（前年同期は5億30百万円の支出）でありました。この主な要因は、社債の償還による50百万円、長期借入金の返済による1億74百万円、配当金の支払いによる2億34百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における実績を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年5月14日に公表いたしました平成27年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。詳しくは、本日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったイハラパイピングサービス株式会社は、平成26年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	3,537
受取手形及び売掛金	3,428	3,181
商品及び製品	348	370
仕掛品	393	355
原材料及び貯蔵品	718	727
繰延税金資産	82	166
その他	215	136
流動資産合計	8,905	8,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,501	1,471
機械装置及び運搬具（純額）	496	511
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	113	62
その他（純額）	44	43
有形固定資産合計	3,577	3,510
無形固定資産	108	111
投資その他の資産		
投資有価証券	1,290	1,818
長期貸付金	2	1
生命保険積立金	62	65
繰延税金資産	485	469
その他	42	42
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,881	2,397
固定資産合計	5,567	6,019
資産合計	14,472	14,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	469
1年内償還予定の社債	50	—
短期借入金	363	361
未払金	390	158
未払法人税等	413	371
役員賞与引当金	22	—
賞与引当金	—	218
その他	130	144
流動負債合計	1,821	1,724
固定負債		
長期借入金	893	719
退職給付に係る負債	1,423	1,464
役員退職慰労引当金	185	183
資産除去債務	54	54
長期預り保証金	166	160
固定負債合計	2,722	2,582
負債合計	4,544	4,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	9,384	9,611
自己株式	△1,674	△1,674
株主資本合計	9,892	10,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	62
為替換算調整勘定	30	4
その他の包括利益累計額合計	36	67
純資産合計	9,928	10,187
負債純資産合計	14,472	14,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	5,051	5,239
売上原価	3,485	3,647
売上総利益	1,566	1,592
販売費及び一般管理費	836	837
営業利益	729	755
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	7
為替差益	18	15
その他	6	8
営業外収益合計	27	31
営業外費用		
支払利息	8	5
売上債権売却損	5	2
複合金融商品評価損	8	0
持分法による投資損失	6	39
その他	4	8
営業外費用合計	33	56
経常利益	724	729
税金等調整前四半期純利益	724	729
法人税、住民税及び事業税	390	365
法人税等調整額	△108	△98
法人税等合計	282	266
少数株主損益調整前四半期純利益	441	463
四半期純利益	441	463

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	441	463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	57
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△25
その他の包括利益合計	14	31
四半期包括利益	455	494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455	494

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	724	729
減価償却費	132	122
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	41
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△22
賞与引当金の増減額(△は減少)	255	218
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
複合金融商品評価損益(△は益)	8	0
受取利息及び受取配当金	△2	△7
支払利息	8	5
為替差損益(△は益)	2	△11
売上債権の増減額(△は増加)	△302	247
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37	7
仕入債務の増減額(△は減少)	82	16
未払金の増減額(△は減少)	△31	△54
その他	△60	47
小計	788	1,339
利息及び配当金の受取額	2	7
利息の支払額	△8	△5
法人税等の支払額	△241	△398
営業活動によるキャッシュ・フロー	540	943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57	△99
無形固定資産の取得による支出	△4	△10
投資有価証券の取得による支出	△2	△562
保険積立金の積立による支出	△5	△3
子会社株式の取得による支出	△81	—
その他	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150	△675
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△33	△1
長期借入金の返済による支出	△174	△174
社債の償還による支出	△150	△50
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△173	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530	△460
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△143	△180
現金及び現金同等物の期首残高	5,062	3,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,918	3,537

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	901	1,800	1,512	547	4,763	288	5,051
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	219	78	21	390	2	392
計	972	2,020	1,591	569	5,154	290	5,444
セグメント利益	248	831	477	112	1,669	70	1,740

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,669
「その他」の区分の利益	70
セグメント間取引消去	△271
全社費用(注)	△740
棚卸資産の調整額	2
四半期連結損益計算書の営業利益	729

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	882	2,108	1,536	605	5,133	105	5,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	44	78	—	124	—	124
計	883	2,153	1,615	605	5,257	105	5,363
セグメント利益	144	805	494	119	1,564	33	1,597

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上、及び不動産賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,564
「その他」の区分の利益	33
セグメント間取引消去	△18
全社費用(注)	△810
棚卸資産の調整額	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。